

医療機関の 資格過誤レセプト返戻状況の 調査報告

里村研究班

2006.07.31

目次

1 資格過誤によるレセプト返戻理由の分析

- 1. 1 316床病院（千葉県）の調査結果
- 1. 2 665床病院（東京都）の調査結果
- 1. 3 171床病院（千葉県）の調査結果
- 1. 4 400床病院（千葉県）の調査結果
- 1. 5 まとめ

2 資格喪失後受診における経過日数の分析

- 2. 1 資格喪失後受診における経過日数データ
- 2. 2 まとめ

1. 資格過誤によるレセプト返戻理由の分析

資格過誤によるレセプト返戻理由の調査結果から、被保険者証記載内容の自動転記化（フェーズ1）、及び被保険者登録状況のオンライン照会（フェーズ2）による効果がどの程度あるかを試算します。

調査対象医療機関：計4病院

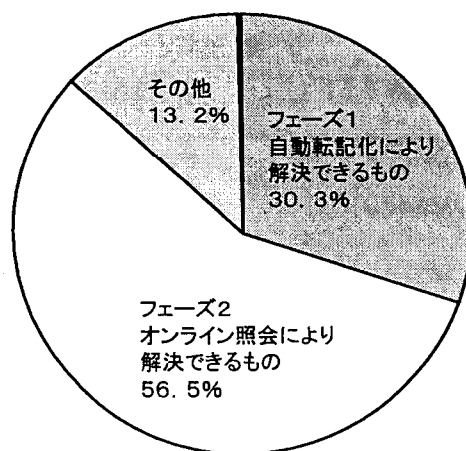
316床病院(千葉県)・665床病院(東京都)・171床病院(千葉県)・400床病院(千葉県)

2

1-1. 316床病院(千葉県)の調査結果

■資格過誤によるレセプト返戻理由と分類(1) 平成17年1月分～12月分

	返戻理由	件数	割合	分類
1	保険者番号・記号・番号の誤り	149	19.3%	フェーズ1 自動転記化により 解決できるもの
2	本人・家族の誤り	61	7.9%	
3	患者名・生年月日・性別の誤り	11	1.4%	
4	該当者なし	11	1.4%	
5	特別療養費	3	0.4%	
6	資格喪失後の受診	201	26.0%	フェーズ2 オンライン照会により 解決できるもの
7	給付割合再調	165	21.3%	
8	老人保健・退職者・前期高齢該当	32	4.1%	
9	認定外家族	16	2.1%	
10	分離	12	1.6%	
11	返戻依頼(資格過誤)	11	1.4%	その他
12	重複請求	46	5.9%	
13	返戻依頼(その他)	23	3.0%	
14	混入	19	2.5%	
15	その他	14	1.8%	
	合計	774	100%	

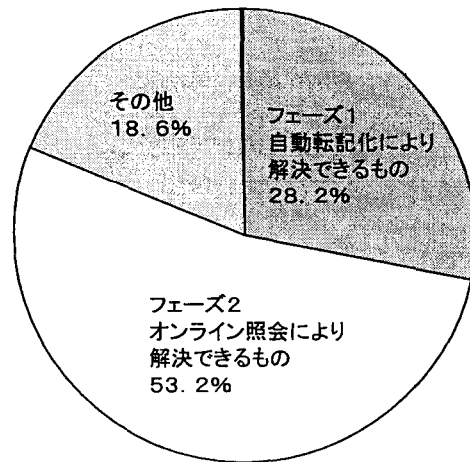


3

1-2. 665床病院(東京都)の調査結果

■資格過誤によるレセプト返戻理由と分類(2) 平成17年4月分～平成18年3月分

	返戻理由	件数	割合	分類
1	記号番号誤り	182	18.4%	フェーズ1 自動転記化により 解決できるもの
2	本人・家族誤り	74	7.5%	
3	公費NO誤り	20	2.0%	
4	保険者NO誤り	3	0.3%	
5	負担割合誤り	212	21.4%	フェーズ2 オンライン照会に より解決できるもの
6	異種保険変更	211	21.3%	
7	同種保険変更	104	10.5%	
8	公費追加	60	6.1%	その他
9	重複請求	19	1.9%	
10	継続保険	8	0.8%	
11	公費削除	4	0.4%	
12	その他	93	9.4%	
	合計	990	100%	

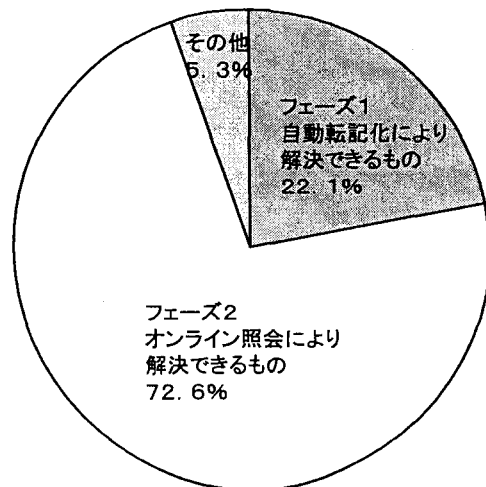


4

1-3. 171床病院(千葉県)の調査結果

■資格過誤によるレセプト返戻理由と分類(3) 平成17年4月分～平成18年3月分

	返戻理由	件数	割合	分類
1	記号番号誤り	30	15.8%	フェーズ1 自動転記化により 解決できるもの
2	本人・家族誤り	11	5.8%	
3	公費NO誤り	1	0.5%	
4	保険者NO誤り	0	0.0%	
5	負担割合誤り	66	34.7%	フェーズ2 オンライン照会に より解決できるもの
6	資格喪失後受診	32	16.8%	
7	同種保険変更	22	11.6%	
8	異種保険変更	18	9.5%	その他
9	公費追加	1	0.5%	
10	重複請求	1	0.5%	
11	継続保険	0	0.0%	
12	公費削除	1	0.5%	
13	その他	7	3.7%	
	合計	190	100%	

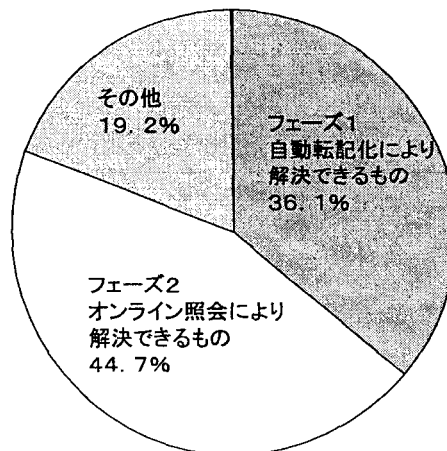


5

1-4. 400床病院(千葉県)の調査結果

■資格過誤によるレセプト返戻理由と分類(4) 平成17年4月分～平成18年3月分

	返戻理由	件数	割合	分類
1	保険者NO・記号番号誤り	165	25.7%	フェーズ1 自動転記化により 解決できるもの
2	公費NO誤り	43	6.7%	
3	本人・家族誤り	24	3.7%	
4	負担割合誤り	125	19.5%	フェーズ2 オンライン照会によ り解決できるもの
5	同種保険変更	62	9.7%	
6	異種保険変更	44	6.9%	
7	資格喪失後受診	56	8.7%	
8	重複請求	5	0.8%	その他
9	その他	118	18.4%	
	合計	642	100%	

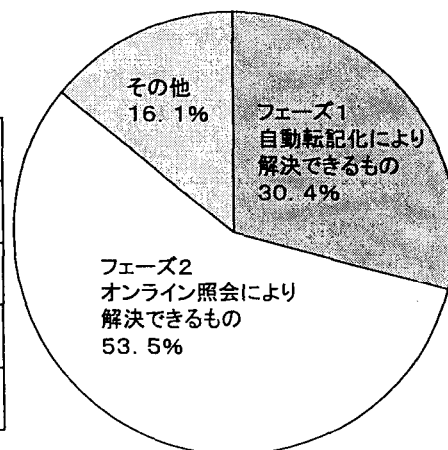


6

1-5. まとめ

■資格過誤によるレセプト返戻理由と分類(まとめ)

	医療機関1	医療機関2	医療機関3	医療機関4	計
フェーズ1 転記により解決できるもの	235	279	42	232	788 (30.4%)
フェーズ2 オンライン照会により解決できるもの	437	527	138	287	1389 (53.5%)
その他	102	184	10	123	419 (16.1%)
合計	774	990	190	642	2596 (100%)



医療機関によって異なりますが、「自動転記化(フェーズ1)」により約30%、「オンライン照会(フェーズ2)」により約54%の資格過誤レセプトが解消できると考えられます。

※「その他」の理由の中にも「フェーズ1」、「フェーズ2」で解消できるものが含まれている可能性があります。

※「フェーズ1」で解消できる資格過誤レセプトは、すべて「フェーズ2」でも解消できると考えられます。

※「フェーズ2」で解消できる資格過誤レセプトは、「フェーズ1」でも一部解消ができるものが含まれている可能性があります。

7

2. 資格喪失後受診における経過日数の分析

資格喪失後受診について、資格喪失日から実際の受診日までの経過日数を調査し、オンライン照会用サーバを更新する際にタイムラグが発生した場合の影響を考察します。

調査対象医療機関数: 計4病院

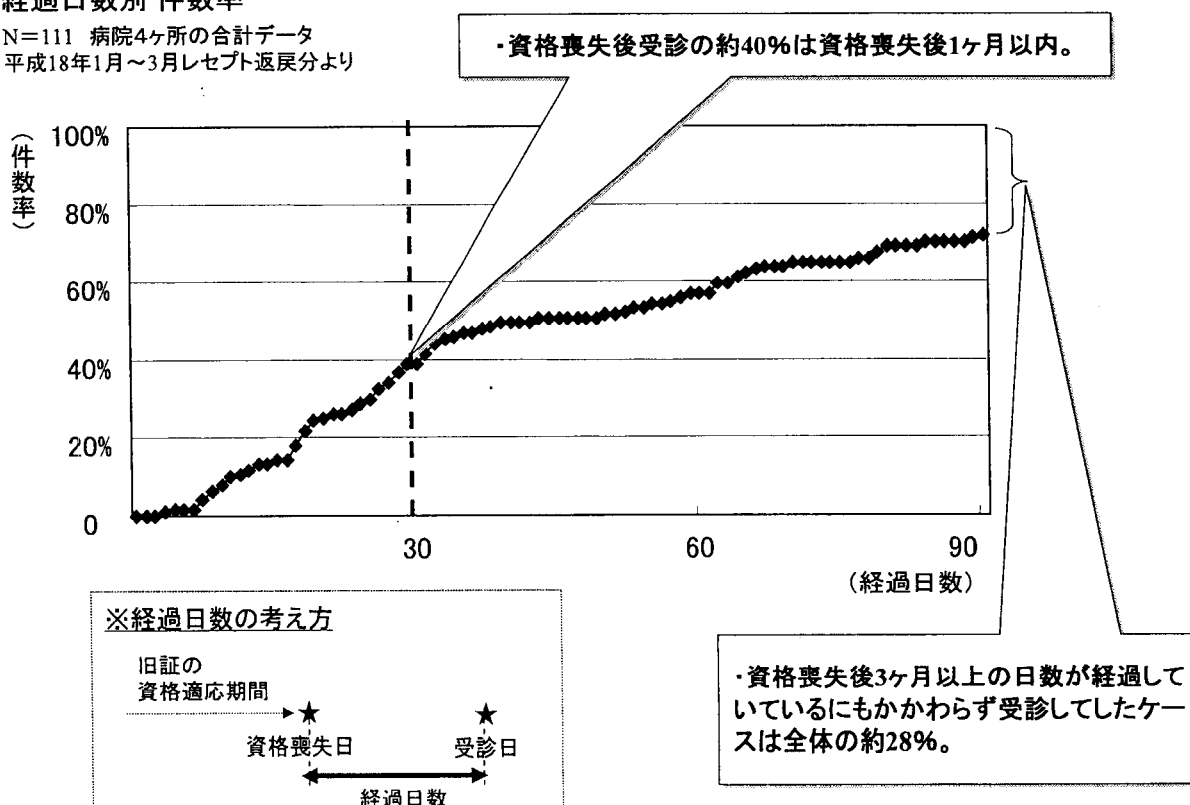
316床病院(千葉県)・171床病院(千葉県)・400床病院(千葉県)・835床病院(千葉県)

8

2-1. 経過日数実績調査結果

■経過日数別 件数率

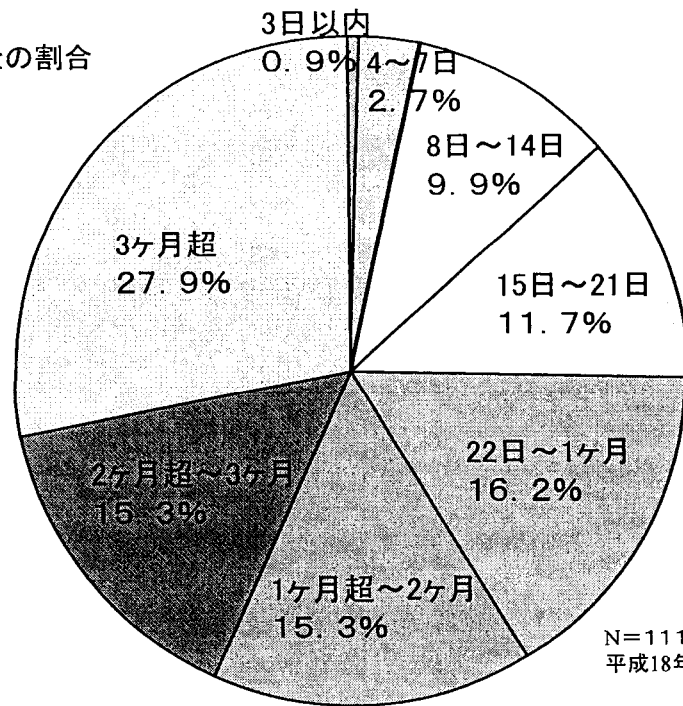
N=111 病院4ヶ所の合計データ
平成18年1月～3月レセプト返戻分より



9

2-2. まとめ

■経過日数の分類ごとの割合



N=111 病院4ヶ所の合計データ
平成18年1月~3月レセプト返戻分より

資格情報を更新するタイムラグを3日以内に抑えられれば約99%、7日以内に抑えられれば約96%の資格喪失後受診がオンライン照会により解消できると考えられます。

被保険者証に装着する媒体（QRコード）への記録項目共通仕様（案）

1. QRコード収録共通仕様（案）

QRコード収録項目（案）をもとに、全保険者共通の必須項目（保険者番号、被保険者証記号・番号など）と、保険者ごとの任意項目（被保険者証発行番号、漢字氏名など）を、標準的な並び順のもとで1つのQRコードに収録する具体的な収録共通仕様（案）を示す。

（1）必須項目について

①使用する文字について

半角文字は、JIS8単位コード体系を用いることとする。

全角文字は、シフトJISコード（第1水準・第2水準）を用いることとする。

②収録方法

必須項目の各データ項目の収録形式について、表1 QRコード記録項目共通仕様（必須項目）（案）に示す。

（2）任意項目について

- ・QRコードに任意項目を収録する場合、必須項目を収録した後に任意項目を収録する。また、任意項目の収録は任意であるため、収録しないことも可能である（この場合、QRコードには必須項目のみを収録することとなる）。
- ・必須項目と任意項目の区切り（セパレータ）として、「,」（半角のカンマ）を設定することとする。それ以降の、収録項目、収録順、格納形式（固定長か可変長か）、文字種類などについては、保険者で決定の上、収録できることとする。

表1 QRコード記録項目共通仕様（必須項目）（案）

項番	項目名	形式	データ仕様	文字コード	バイト数	収録内容	
必須項目	1	バージョン番号	固定長	半角数字1桁	JIS8単位コード	1バイト	QRコード収録方式のバージョン番号を収録する。 最初は”1”から開始し、収録内容・順番等が変更になる場合、数字の繰上げを行なう。
	2	制度区分		半角数字2桁	JIS8単位コード	2バイト	制度区分番号を収録する。 (例:政管01、組合管掌06他)
	3	保険者番号		半角数字8桁	JIS8単位コード	8バイト	被保険者証記載の保険者番号を収録する。 8桁に満たない場合(政管の4桁、国保の6桁など)は右詰とし、左側を0で埋める。
	4	被保険者証記号・被保険者証番号		半角20桁相当の半角数字または全角文字(※1)	半角文字は、JIS8単位コード 全角文字は、シフトJISコード	20バイト	被保険者証記号と被保険者証番号を連続して収録する。ただし記号と番号の間に、1文字スペースを入れる。 データ及びスペース1文字を合計して半角20桁相当に満たない場合は右詰とし、左側を0で埋める。
	5	本人・家族区分／世帯主・その他区分		半角数字1桁	JIS8単位コード	1バイト	本人・家族区分／世帯主・その他区分を以下の方式で収録する。 1:本人(世帯主) 2:家族(世帯主以外)
	6	カナ氏名		半角カナ14桁	JIS8単位コード	14バイト	氏名を半角カナ形式で収録する。ただし氏と名の間に、1文字スペースを入れる。 データ及びスペースで半角14文字に満たない場合は右詰とし、左側をスペースで埋める。また半角14文字を越える場合は14文字目を”?”で置き換え、15文字以降は省略する。
	7	性別		半角数字1桁	JIS8単位コード	1バイト	1:男、2:女
	8	生年月日		半角数字7桁	JIS8単位コード	7バイト	GYMMDD(元号/年/月/日) G=1:明治、2:大正、3:昭和、4:平成
合計(必須項目)					54バイト		

※1：全角文字1文字は、半角文字2文字分としてデータ量を計算する。

保険者にて任意項目を収録する場合は、必須項目収録後に区切り（セパレータ）として「,」（カンマ）を挿入した後に収録することとする。任意項目に収録する項目、収録順などは、保険者で独自に決定の上、収録できることとする。

2. QRコード作成・券面印刷仕様（案）

保険者が被保険者ごとにQRコードを作成し、被保険者証の券面に印刷する場合の仕様（案）を示す。

（1）誤り補正レベルについて

QRコードは、コードの一部に汚れまたは破損があった場合でも、正常な記載部分からの読み取り情報を用いて、情報を復元する機能（誤り補正）を備えている。誤り補正レベルは複数段階あるが、作成・印刷仕様としては、レベルM（QRコードの欠損・汚れなどによる誤り訂正能力が約15%）とする。

（2）セルサイズについて

QRコードのセルサイズ（QRコードを構成する一つの四角い領域の大きさ）は、医療機関側で利用するスキャナ精度を考慮し、0.25mm以上0.75mm以下とする。

参考： QRコード作成に関する具体例について

本資料の仕様（案）に従いQRコードを作成した場合の大きさ例について、以下に示す。

収録項目 (2. QRコード収録共通仕様(案)に関連)	券面印刷 (3. QRコード作成・券面印刷仕様(案)に関連)	QRコードの大きさ
必須項目のみ	(1) 誤り補正: レベルM (2) セルサイズ: 0.25mm (※600dpiのプリンタで印字)	9.4mm四方
必須項目のみ	(1) 誤り補正: レベルM (2) セルサイズ: 0.34mm (※300dpiのプリンタで印字)	12.5mm四方
必須項目 + 任意項目 (10桁の数字)	(1) 誤り補正: レベルM (2) セルサイズ: 0.34mm (※300dpiのプリンタで印字)	12.5mm四方
必須項目 + 任意項目 (10桁の数字、漢字12文字)	(1) 誤り補正: レベルM (2) セルサイズ: 0.34mm (※300dpiのプリンタで印字)	15.2mm四方

【備考】

- ・表中の「QRコードの大きさ」は、データ収録部（QRコード本体）に加え、認識のために必要となる周辺余白面積を含んだ大きさである。